

あいである REPORT

NUMBER
13

令和4年12月

663名に実家便を 発送いたしました!



実家便を利用されている施設職員の声



京都聖嬰会
松本 由美子 先生

『実家便』の響きに喜び

平成29年に『実家便』と言うフレーズを目にした時に、施設を『実家』と捉えて下さったことが、とても嬉しく感動に近い気持ちとその響きにくすぐったい感じを受けました。

年に2回6月と12月届く一箱に、多くの方の想いが込められた荷物を受け取って「すぐに食べられる物は嬉しかった」や「救急用品は助かった」や全部並べた写真を送って受け取った子ども達の喜ぶ顔が想像できる子や「メッセージを見て泣けた」と在所当時からは想像もつかないコメントをもらう事もありました。物だけではなく、多くの賛同企業の方々のお力で集められた事が「社会全体で見守られている感じで安心できる」とその「繋がり」への喜びの言葉を聞かせてくれました。

この取り組みについては、「メッセージ」をその子を知っている全職員が書いています。一人ひとりの現状を共有し、その時々への応援の声を書くことも、職員育成に大きな役割を持ち、施設だけでは、日々のケアに追われがちなところを、我々も支えて頂きながら継続した形でのアフターケアとして活用させていただける事に感謝しています。



大洋学園
今野 里美 先生

私たちの施設では平成28年から支援していただいております。実家便にお世話になった卒園生はもう20名を超えます。日々の忙しさであっという間に感じる1年ですが、年に2回実家便のお知らせが届くので、あいであるさんのお力を借りて、5年間しっかり卒園後の生活を見守ることができていることに感謝しています。お金がなくなると、どうしても切り詰めがちになる食料や季節に合ったもの、あったら安心の非常袋など、ちゃんと食べてるかな揃えているかなと心配するような物資を送っていただいております。卒園生から助かるという声が聞かれています。過去には、正月早々に北海道で大雪となり、外に出れないし食料もないという状況になった卒園生から「実家便があって空腹をしのげた、普段でもあの缶入りのパンおいしくて好き」と感謝の電話がかかってきました。

実家便だけでなく、お金の使い方について学ぶ「マネークリップレクチャー」講習をしていただいております。卒園後のお金の使い方について考える機会となっています。

どうしても、施設の支援は卒園後のことは二の次になりがちのところ、子どもたちにとって必要な支援をしていただいております。今後も卒園生共々よろしくお願い致します。

令和4年度12月継続支援者へ発送した実家便

※協賛品(寄贈品)については、その都度変わります。



実家便の発送費用として
助成金をいただきました!

LUSH FRESH
HANDMADE
COSMETICS

ラッシュジャパン合同会社

実家便の意義について 再確認をお願いします



実家便は、施設と退所者をつなぐ「架け橋」であり、コミュニケーションのきっかけをつくるツールでもあります。

施設職員からの住所の確認、実家便が届いたことを知らせる連絡。それをきっかけに、近況について話すことができますようになります。この繰り返しの先に、支援のニーズを共有することができ、アフターケアサポートが始まります。

実家便をアフターケアサポートのスタートとして、子どもたちへの積極的な支援、コンタクトの機会としてお役立てください。



最後の実家便を受け取った子どもから 施設の先生、支援者の方へ宛てた 直筆のメッセージが届いています!

一部をご紹介します。

実家便ありがとうございました。
大学生の時ばななごはんを作ることが面倒なことが多々ありました。
そんな時に実家便から届いたレトルト食品は手に取ることがばい、良いお米、軽食、おかしと、色んな食べ物が揃っていて嬉しかったです。
他にもマスク、ハンカチなどを入手することができて、本当に助かりました。
今まで本当にありがとうございました。毎度おいしくいただきました。

実家便支援で、暖かい気持ちのこもったメッセージカード、とても嬉しかったです。
支援者さんの皆様本当にありがとうございます。
毎日、届くのが楽しみです。
これからお返しの気持ちを忘れず、回りに頼りながら頑張ります。これからもよろしくお願いします。

実家便支援で、暖かい気持ちのこもったメッセージカード、とても嬉しかったです。
支援者さんの皆様本当にありがとうございます。
毎日、届くのが楽しみです。
これからお返しの気持ちを忘れず、回りに頼りながら頑張ります。これからもよろしくお願いします。

あいであるの マネークリップレクチャー



新しく制作したカード

新たなレクチャーカードを制作いたしました!

オリジナルのレクチャーカードを使って、お金の使い方や生活費のやりくり、コミュニケーションの仕方を体験をし、自活のシミュレーションを行う「マネークリップレクチャー」。

成年年齢の引き下げにより懸念されている金銭や契約に伴うトラブルに関するカードや、キャッシュレス決済、スマホアプリの課金など、社会環境の変化への注意喚起となるカードを新たに制作いたしました!

既存のマネークリップレクチャーとともに、ご活用いただけます。



公益財団法人
お金をまわそう基金

公益財団法人お金をまわそう基金を通し、レクチャーカード制作費用への寄付を受付けています! ご支援・ご協力をお願いいたします。

あいであるの寄付受付ページはこちら(受付期間は2023年3月末まで)▶



2023年
4月1日より

実家便及びマネークリップレクチャー の新規募集の受付を開始いたします!

※募集要項を2023年4月1日に当財団法人のホームページに掲載します。(https://idealideal.org/)にてご確認ください。

HPリニューアル
しました!



公益財団法人
あいである

〒105-0004
東京都港区新橋1丁目18-16 日本生命新橋ビル3F